

環境調査結果のお知らせ

令和3年3月17日10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施したところ、赤潮水塊が確認されました。調査結果は以下のとおりです。

水温・塩分(表1、表2)

水温は16.8～17.2℃で、前回調査時(R3.2.16)と比較して全層で0.6～2.3℃上昇しました。

塩分は24.1～32.5で、前回調査時と比較して表層から表層から2m層で0.1～2.7低下し、底層で0.1上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.7～15.2 mg/Lで、前回調査時と比較し表層から2m層で0.8～7.2 mg/L増加し、底層で0.2mg/L低下しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は1.5mでした。

検鏡の結果、有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で28,900 cells/mL確認され、漁業被害が想定される細胞密度に達していました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深 (m)	今回調査	前回調査(R3.2.16)	
			差(今回-前回)
0m	16.8	14.5	2.3
1m	17.0	15.5	1.5
2m	17.2	16.5	0.7
B-1	17.2	16.6	0.6

表2 塩分

測定水深 (m)	今回調査	前回調査(R3.2.16)	
			差(今回-前回)
0m	24.1	26.8	▲ 2.7
1m	27.3	28.9	▲ 1.6
2m	31.8	31.9	▲ 0.1
B-1	32.5	32.4	0.1

表3 溶存酸素量(mg/L)

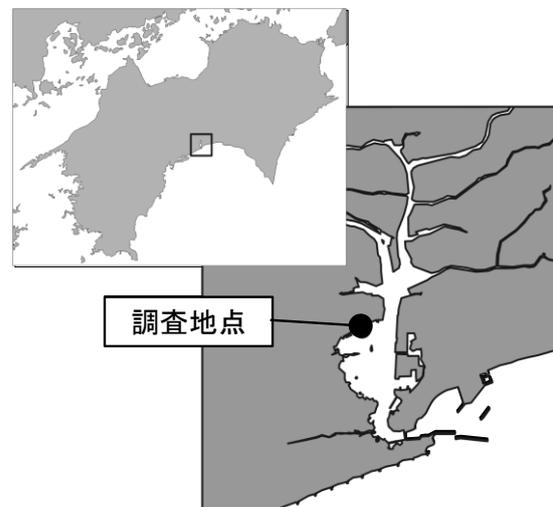
測定水深 (m)	今回調査	前回調査(R3.2.16)	
			差(今回-前回)
0m	15.2	8.0	7.2
1m	13.1	7.7	5.4
2m	7.8	7.0	0.8
B-1	6.7	6.9	▲ 0.2

表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.5	3.5
透明度	1.5	2.5

表5 プランクトン(cells/mL)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	珪藻類
0	28,900	0
1	10,750	4
2	6,200	1



漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000～50,000cells/mL(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>